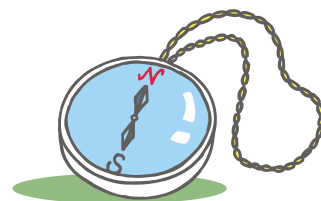


羅 針 盤

第 16 号

令和8年9月28日（月）



◆ 「人として成長する」

「人として成長する」この言葉の意味は、単に知識や技能、あるいは、生きるための術（すべ）といったことを身につけるだけではなく、「人間性」や「人格」といったものを磨き続け、「より良い人間」になることを目指すことを言います。自己の成長を求め、自己実現のための目標を達成することや、より良い人生を送るためには、主体的に学び、そして、自主的に行動することがとても大事なことです。具体的には、自分の強みや弱み、自分の持つ価値観を理解することで、方向性を明確にして、達成すべき目標を設定し、それに向かって弛まぬ努力を続けること、そして、新しいことに挑戦するといった気概を持ちながら、困難なことを乗り越えることが出来るように様々な経験を積むこと、また、人との関わりの中から、他の人の良いところを見つけ出し、自分の未熟な部分に気づくことも大切なことのはずです。そして何よりも、周囲の人々や自分を取り巻く環境に感謝する気持ちを忘れることなく、前向きな気持ちを持つ続けることを大事にしていなければならないはず。成長した姿は、一朝一夕に結果が出るものではなく、日々の積み重ねの延長線上に表れてくるものです。「人としての成長」を望むのであれば、相手の立場に立って向き合い、状況をよく理解し、自らが相手のことを信頼したうえで、「相手のためになること」をするべきでしょう。「相手のためになること」とは、単に自分の知っていることを教えたり、相手の代わりに物事を成すことではなく、本気で励まし、本気で認め、そして、本気で叱ることが必要なことだと思います。そのためには、自分自身の「人間力」を高めること。「人間力」を高めるためには、どんなことについても自分が選択したことであるという自覚を持ち、周りの言動に耳を傾け、自身の不足を受け入れる素直な気持ちを持ち続け、何事にも失敗を恐れずに挑戦する気持ちを持っていることが不可欠です。できなかったことができるようになることを成長と言うことは誰もが知っていることです。「人としての成長」を常日頃から望む人にこそ、真の成長が訪れることを忘れてはいけません。



◆ 「朝の時間の活用」

世界中のすべての人に、毎日、平等に一日24時間という「時間」が与えられています。しかし、誕生から死ぬまでの人生の時間は、残念ながら「平等」ではありません。生徒の皆さんは、「時間」を大切に使っているでしょうか。時間の使い方として、「朝の時間の活用」がとても大事なことです。これは、いつもより1時間早

く起きて「自分が本当にしたいことをする時間」にするという考え方です。わずか1時間ですが、一か月で30時間、一年で360時間にもなります。15日分の時間がつくり出せます。1時間といわず、30分でも大きな価値があるはず。本を読むことが好きな人は読書、英語が好きな人は英会話の学習、野球が好きな人は素振りの時間といったように、誰にも邪魔されることなく自由に自分の時間として使えるのではないのでしょうか。「早起きは三文の徳」という言葉もあります。「朝の時間の活用」について、一度考えてみてはどうでしょうか。

